

平成 22 年 3 月 19 日  
気 象 庁

「東海地震の予知手法等に関する勉強会」の議事要旨について

気象庁では、東海地震の予知に関する新しい知見、注目する研究等、地震の予知に関する最新の研究成果についての情報収集と意見交換を行うため、昨日、「東海地震の予知手法等に関する勉強会」を開催しました。意見交換の概要は次のとおりです。

1. 開催日および場所

平成 22 年 3 月 18 日（木） 気象庁（2F）地震防災対策強化地域判定会室

2. 出席者

山岡(座長)、海野、加藤、松本、武村、久田の各学識メンバー(役職等は別紙参照)

伊藤地震火山部長、横田地震予知情報課長、土井地震情報企画官、舟崎評価解析官、  
荒谷課長補佐、山田調査官、中村調査官 他

3. 議事要旨

勉強会の主旨及び勉強会で得られた成果等を判定会委員打合せ会に報告することを説明した。また、最近の研究成果等、今後の会の進め方について意見交換を行った。主な事項は以下のとおり。

(主な事項)

- (1) 最近 10 年間の東海地震予知に寄与する最近の新たな研究成果として、①長期的スロースリップに関する知見、②深部低周波地震活動と短期的スロースリップに関する知見、③地震発生シミュレーションに関する知見、④フィリピン海スラブの構造に関する知見があることを説明。
- (2) 次回の勉強会では、東海地震予知で重要な位置づけである「前兆すべり（プレスリップ）」の概念のもととなっている地震発生シミュレーションの最新の研究成果をとりあげて、意見交換を行うのが良い。
- (3) 勉強会の成果については、年内をめどに最終報告として取りまとめることとし、秋頃にでも中間的な取りまとめを行うのが良いのではないかと。

【本件に関する問合せ先】

気象庁地震火山部地震予知情報課  
電話 03-3212-8341（内線）4576

東海地震の予知手法等に関する勉強会 構成メンバー

- 座長 山岡 耕春 名古屋大学大学院環境学研究科教授  
(微小地震、地震予知)
- 谷岡 勇市郎 北海道大学大学院理学研究院教授  
(プレート間地震、津波)
- 海野 徳仁 東北大学大学院理学研究科教授  
(微小地震活動)
- 加藤 尚之 東京大学地震研究所准教授  
(プレート間地震発生のシミュレーション)
- 飯尾 能久 京都大学防災研究所教授  
(内陸地震の発生予測)
- 松本 聡 九州大学大学院理学研究院准教授  
(地下構造解析、地震波形解析)
- 武村 雅之 鹿島建設株式会社小堀研究室プリンシパル・リサーチャー  
(地震工学、強震動解析)
- 久田 嘉章 工学院大学建築学科教授総合研究所・都市減災研究センター長  
(地震工学、都市防災)